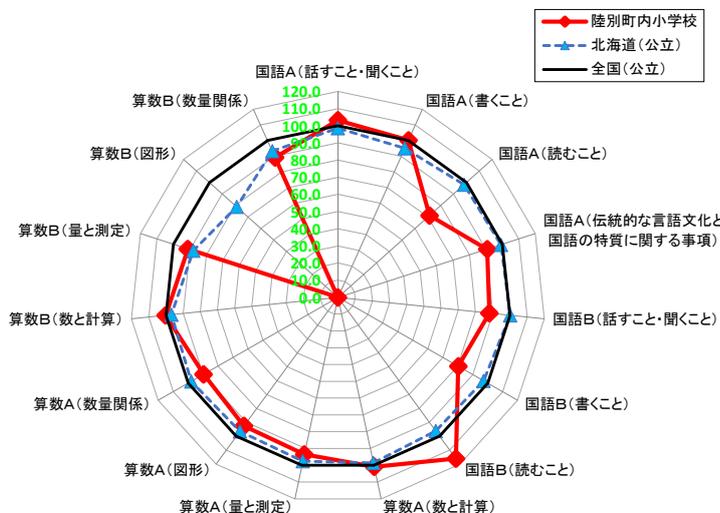


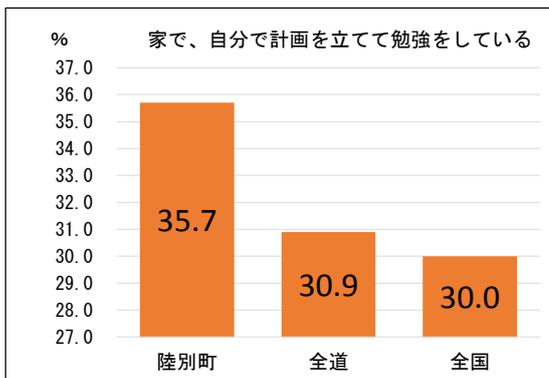
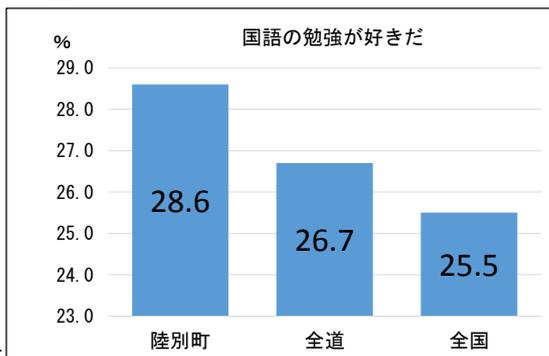
■陸別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:14人)

【教科全体の状況】

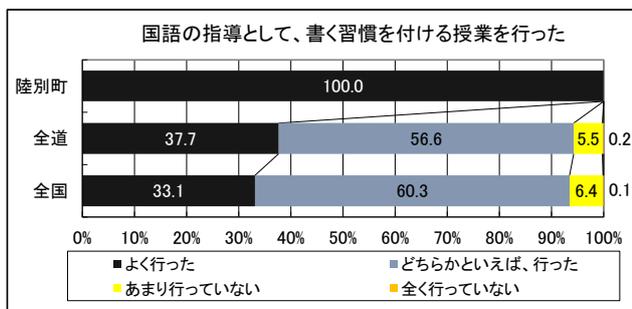
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



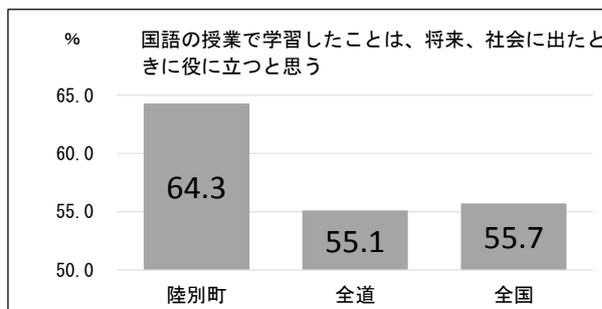
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」、Bでは、「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数A、Bでは、「数と計算」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業をよく行った結果、「国語の勉強が好き」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童が増え、国語Aの「話すこと・聞くこと」「書くこと」、Bの「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国語の勉強が好きだ」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭における学習時間の設定など学習の習慣化を図った結果、家で、自分で計画を立てて勉強していると回答した児童の割合が増え、算数A、Bの「数と計算」で全国を上回るなど、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られてきたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った。 	

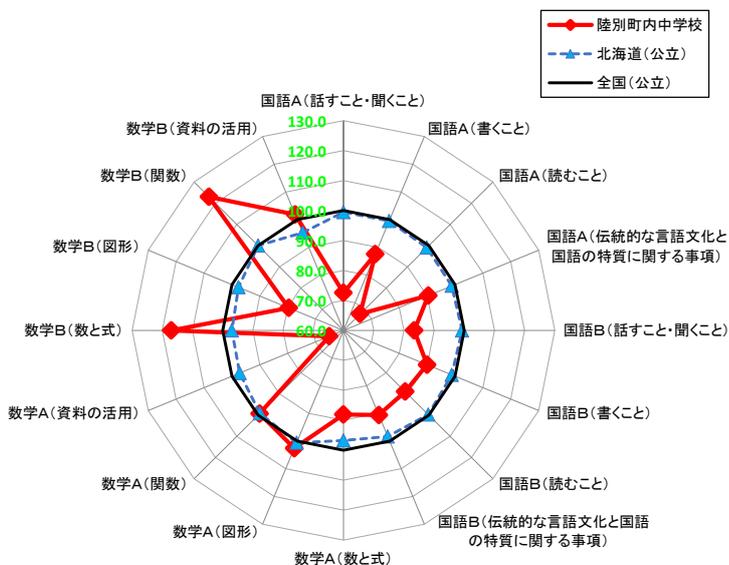
【陸別町の学力向上策】

- ◎ 家庭における学習時間の設定など学習の習慣化
- ◎ 9か年を見据えた小中連携教育の充実
- ◎ 地域の教育資源を生かした学校支援やふるさと教育の推進
- ◎ 土曜授業の推進

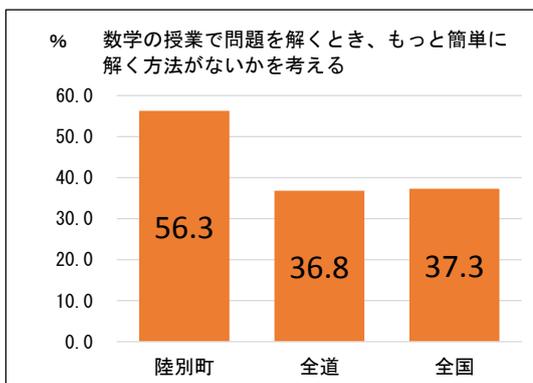
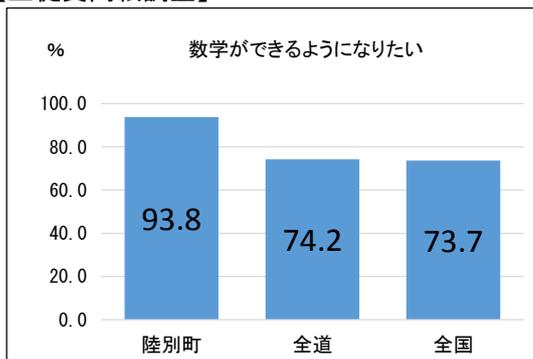
■陸別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:16人)

【教科全体の状況】

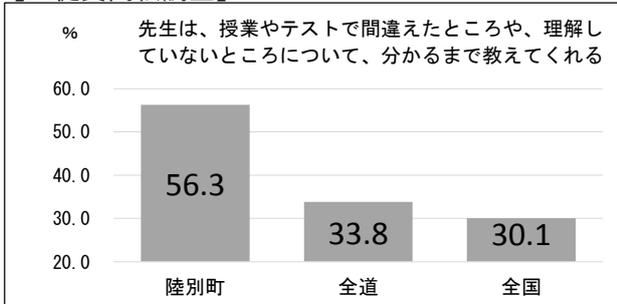
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



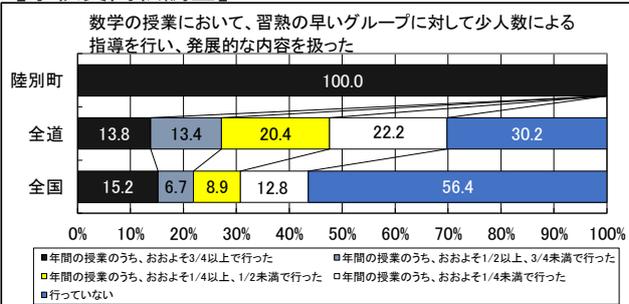
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	分析内容
数学	○ 数学Aでは、「図形」、Bでは、「数と式」「関数」「資料の活用」で全国を上回っている。
生徒質問紙	○ 「数学ができるようになりたい」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないかを考える」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。
学校質問紙	○ 数学の授業において、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱った。
	○ 数学の授業において、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱った結果、数学ができるようになりたいと考えたり、数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないかを考えたりする生徒が増え、数学Aの「図形」、Bの「数と式」「関数」「資料の活用」で全国を上回ったと考えられる。 ○ 朝と放課後の個別指導の充実を図った結果、先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると回答した生徒が増えたと考えられる。

【陸別町の学力向上策】

- ◎ 朝と放課後の個別指導の充実
- ◎ 9か年を見据えた小中連携教育の充実
- ◎ 地域の教育資源を生かした学校支援やふるさと教育の推進
- ◎ 土曜授業の推進